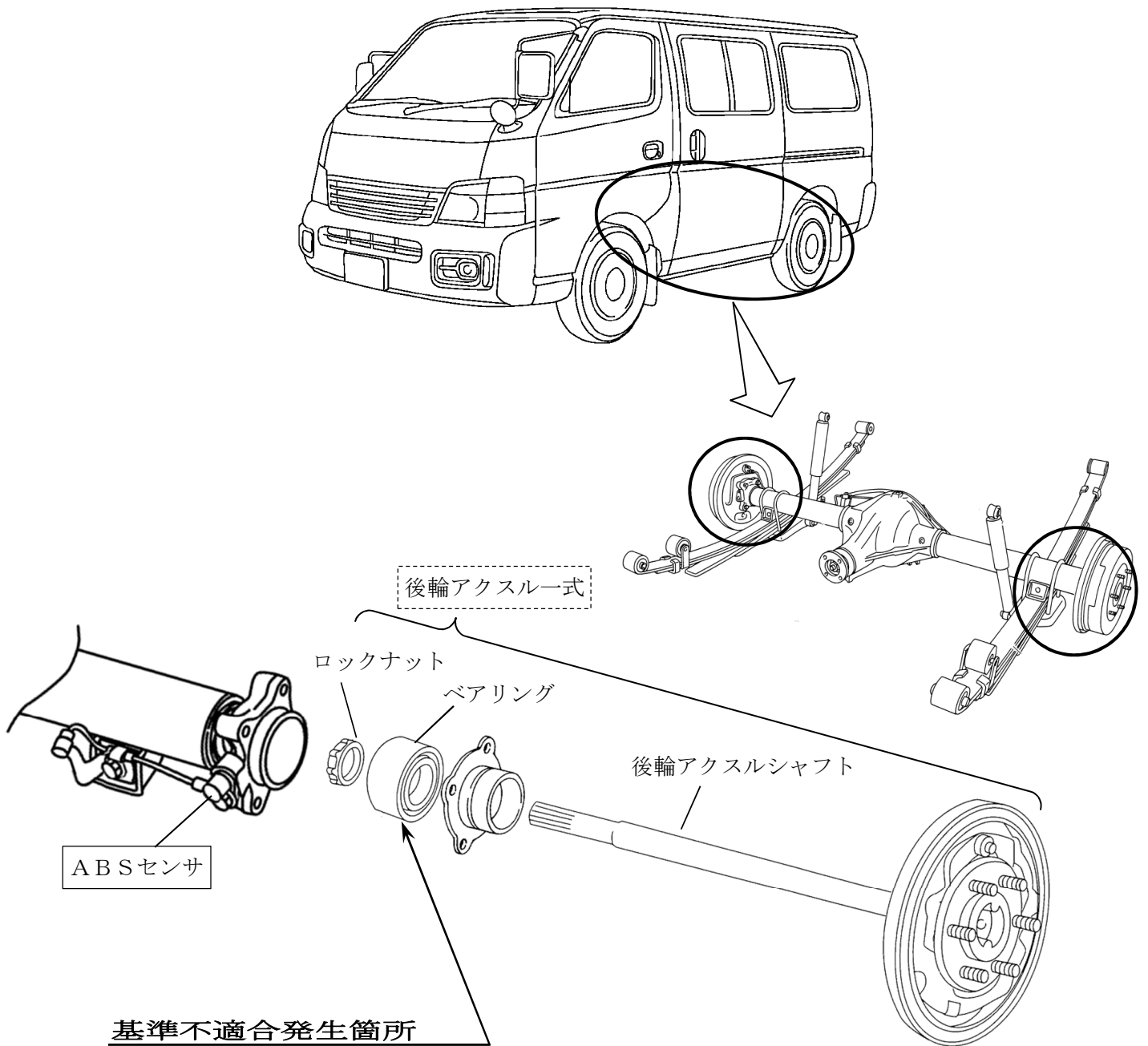


## 改善箇所説明図②



### 基準不適合発生箇所

ABS付き車において、後輪のABSセンサ取付け部の構造が不適切なため、取付け面のシール性が低いものがある。そのため、シール部から浸入した泥水等がベアリング内に到達し、そのままの状態で使用を続けると、ベアリングが潤滑不良となり、最悪の場合、ベアリングが破損し、後輪アクスルシャフトが抜けて走行不能となるおそれがある。

### 改善の内容

全車両、ABSセンサ取付け部にシール剤を塗布するとともに、シール部の錆の状況を確認する。その結果、ベアリング内に水が到達した形跡が確認された場合は、当該後輪アクスルー式を新品と交換する。

識別：銀色のシールをモデルナンバープレートの右横に貼り付ける。

注： は、シール剤を追加する部品を示す。

は、点検結果によって交換する部品を示す。